

高性能林業機械の作業難易度マップをつくりました

高性能林業機械の能力を生かした施業計画の立案を支援するため、高性能林業機械による林内での機械作業の難易度を3段階で表現したマップを作成しました。

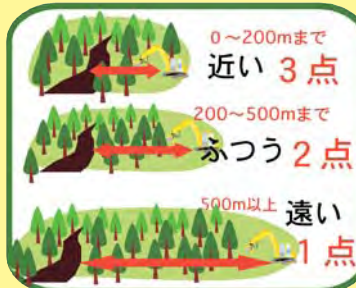
高性能林業機械の作業能率は、“森林から道路までの距離”と“傾斜”に大きく左右されます。この2つの因子をもとに、対象となる森林が機械作業に適しているかどうかを小班ごとに判断し、「適している」「普通である」「検討を要する」の3段階で示しました。マップは各森づくりセンターの民有林GIS上で表示することができます。

このマップを、新たな事業箇所の掘り起こし等に活用していただきたいと思います。
(経営科・資源解析科)

50mメッシュの平均傾斜



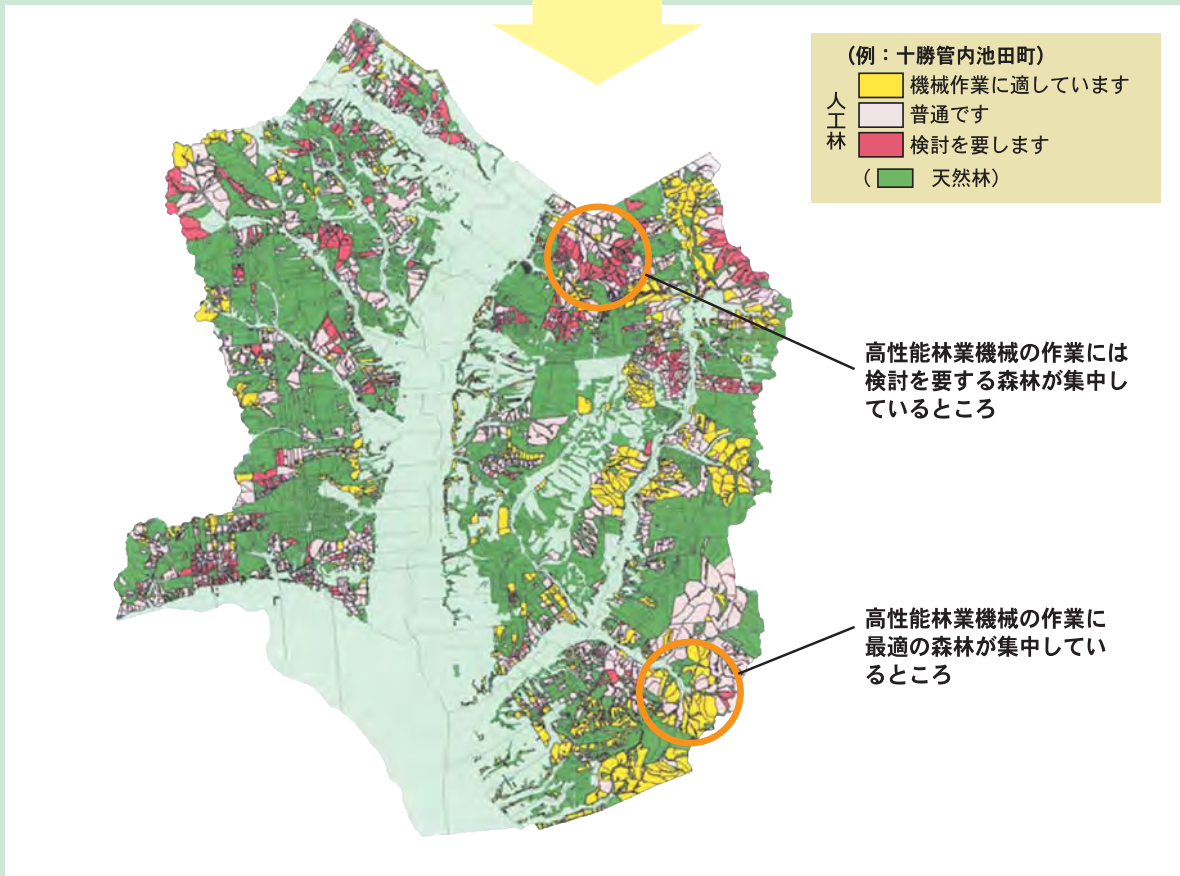
道路からメッシュ中央までの距離



50mメッシュごとに左図の点数を与え、その平均得点をもとに、機械作業の小班ごとの難易度を3段階に区分。

| 平均得点 | 作業難易度 |
|------------|--------|
| 4.7～6点 | 適している |
| 3.3～4.7点未満 | 普通である |
| 2～3.3点未満 | 検討を要する |

→旧市町村区分（212市町村）ごとに3段階の機械作業難易度マップを作成



マップの難易度区分の考え方と事例